

安全衛生だより第4号

1. 5月全国行事
 - 1) ごみゼロの日 5月30日
 - 2) ごみ減量化リサイクル推進週間 5月30日～6月5日
 - 3) 禁煙週間 5月31日～6月6日
 2. 安全・衛生・防災の心得 : 新入社員等の安全衛生管理
 3. 当社 良い事例 (抜粋)
 4. 他社 事故・災害事例から : ごみ袋内の陶器破片で大ケガ
 5. ヒヤリハット事例 : バスケット内に引っかかっていた針金につまづいてヒヤリ
-

2. 安全・衛生・防災の心得: 新入社員等の安全衛生管理

～良いチームワークや良い習慣づくりを～

4月は例年、事業場では新年度を迎えて協力会社の社員を含め、新入社員の配属や人事異動などでメンバーが変わり、これまで職場で作られてきた共通の価値観や目標・規律などチームワークに微妙な変化が生じ、思わぬトラブルや災害につながる可能性があります。

職場での良いチームワークや習慣等は皆でしっかり守ることが大切です。

特に4月の新入社員などの人たちに対しては、早く職場に慣れてもらいたいと気遣うあまり、職場のルールなど、きびしい事柄にはつい甘くなりがちです。

お互いに、まず次のことを実行しましょう。

- ①分からないことは必ず聞く、聞かせる。
- ②少しの異常 (含む、ヒヤリ・ハット) でも上司等に報告する、報告させる。
- ③安全ルールや安全作業手順を守る、守らせる。
- ④安全衛生活動等に積極的に参加する、させる。
- ⑤挨拶は明快に、ホウレンソウ (報告・連絡・相談) は的確に行う、行わせる。



4. システム監査 良い事例（抜粋）

●前橋工場

①人及び物の挟まれを防止するため
センサー感知式のシャッターを導入
して、安全面を向上させていた



②地下水受水槽を耐震性の高い
設備に更新していた



5. 他社 事故・災害事例から：ごみ袋内の陶器破片で大ケガ

（1）災害のあらまし

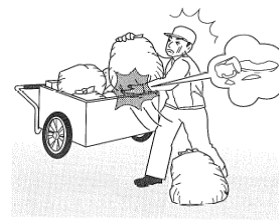
終業間際の時刻、職場の廃棄物を集めに来た清掃業者が、職場で発生した生ごみ等が入った
ゴミ袋を抱えて回収用のリヤカーに載せようとしたところ、ゴミの中に混じていた陶器の
破片で左手指を切るという災害が発生しました。

（2）災害の主な原因

- ①生ごみのごみ袋に「分別規程違反」の陶器の破片が入っていた。
- ②ビニール袋の重量が重かったため、袋の底に手を添えていた。
- ③廃棄物回収の作業者の手袋は、薄いゴム手袋を使用していた。
- ④終業時間が迫っていたため、急いで袋を取り扱っていた、など。

（3）同種災害の防止対策（例）

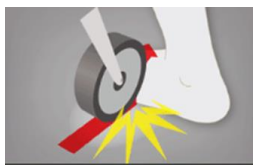
- ①廃棄物の分別は規程に従って全員で正しく守る。
- ②分別を守りやすいように、容器や表示を明確にする。
- ③廃棄物を入れた袋の重量は、取扱者のことを考慮する。
- ④自分自身がケガをしない、人にもケガをさせないことを心掛ける。
- ⑤終業時間は気が急いで災害が発生しやすいため、特に注意する。



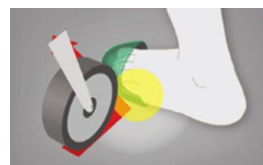
6. トピックス～保護具（安全靴）の紹介

安全靴を履いていても台車が足の小指に当たったり、乗り上がった時に骨折する事故が少なく
ありません。（当社でも135期に同様の労災が発生しております）

現在、メーカーによっては小指保護の付いた製品が販売されております。是非ご検討ください。



小指保護が無い安全靴



小指保護がついている安全靴

<参考：ミドリ安全HP>
https://midori-fw.jp/c_002/

7. ヒヤリハット事例

・事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

いつ	午後2時頃
どこで	大型製品の解体場で
何をしている時に	大型の製品を解体するため、バスケットの中に入り移動している際
どうなった	バスケット内に引っかかっていた針金につまづいてヒヤリとした

以上